

2016年1月 活動報告と2,3月の予定

活動日誌		
1月	4日	宇都宮市・小山市賀詞交歓会署名
	7日	県民生活部、保健福祉部訪問
	5日	連合栃木新春のつどい
	12日	栃木県議会民主党会派との懇談会
	14日	第3回理事・幹部職員定期学習会
	15日	常務理事会、財政検討委員会、賀詞交歓会
	18日	栃木県子どもエコクラブ審査会
	19日	消費者ネットワーク幹事会
	21日	栃木県議会公明党会派との懇談会、食の安全ネットワーク世話人会
	26日	栃木県とちぎ食の安全・安心推進会議
	27日	エコ農業推進シンポジウム・宇都宮市長賀詞交歓会
	28日	とちぎ消費者カレッジ栃木県農業大学校
	29日	栃木県適格消費者団体設立準備会
2月	1日	消費生活安定対策審議会
	3日	全国漁業連合協同組合、青年女性交流大会審査会
	4日	協同組合交流会
	5日	農政審議会
	7日	公明党新春政策文化懇話会
	8日	第5回定例くらし部会
	9日	定例理事会
	11日	四倉お茶会
	13・14日	適格消費者団体連絡協議会(埼玉)
	15日	第4回理事・幹部職員定期学習会
	16日	下野新聞「下野ふるさと大賞」審査会
18日	認定こどもみどり園、食の安全学習会	
22日	宇都宮市食品安全懇談会	
23日	食と農を考えるフォーラム	
3月	1・2日	全国漁業連合協同組合、青年女性交流大会審査会
	3日	消費者フォーラム in にいがた
	5・6日	沖縄県の戦跡と辺野古視察
	7日	適格消費者団体設立準備会
	10日	常務理事会
	12日	JAビル竣工記念式典
	14日	第5回理事・幹部職員定期学習会
	15日	消費者ネットワーク幹事会
	17日	食の安全ネットワーク全体会
18日	生物多様性を育む農業国際会議実行委員会	

【1月の振り返り】

◇行政関係

・懇談会・審議会への参加

- 1/12,21 日 民主党・無所属クラブ、公明党栃木県本部と懇談
- 1/18 日 栃木県子どもエコクラブ審議会(会長出席)
- 1/26 日 栃木県とちぎ食の安全・安心推進会議(会長出席)

・その他

- 1/7 日 とちぎ食の安・安心・信頼性に関する基本計画へパブコメ
- 1/12 日 栃木県食育推進計画へパブコメ
- 1/15 日 賀詞交歓会開催
- 1/27 日 宇都宮市長賀詞交歓会、エコ農業シンポジウム参加

◇ネットワーク活動

- 1/19 日 とちぎ消費者ネットワーク幹事会
- 1/21 日 とちぎ食の安全安心ネットワーク世話人会
- 1/28 日 とちぎ消費者カレッジ栃木県農業大学校

◇県連学習会

- 1/14 日 第3回理事・幹部職員定期学習会

◇被災地支援

- 1/30 日 四倉お茶会は、降雪のため2/11に延期

◇その他

- 1/23 日 認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク20周年式典参加

以上

県連活動

1. 機関運営

- 1月15日(火)、第4回常務理事会を開催しました。
第5回定例理事会の議案として、総会までのスケジュール、役員定数枠について、財政検討委員会答申等、第6次中期計画についての審議等と、12月～1月の活動報告等を行いました。

2. 県連主催学習会

- 1月14日(木)、2015年度第3回理事・幹部職員定期学習会を開催しました。
演題:女性と子どもの人権、～暴力と貧困の背景にあるもの～
講師:認定NPO法人サバイバルネット・ライフ代表 仲村 久 氏
実際に活動をされている方からしか伺う事のできない現場の声に、参加者は声を失い、衝撃を受けていました。私たちの暮らしのすぐ傍らに、こんなにもひどい状況があるのになぜ気が付かないのだろう…と、自責の念を持つ参加者も多くいました。それぞれに深く考える機会となりました。

- ・ 長年DV、虐待などに携わった仲村さんからのお話をお聞きし、現実の悲惨さやむごさがわかり、衝撃を受けました。
- ・ 無知、無関心では済まされない大きな問題と感ずます。どうして起こるのか？を探るにあたり、社会の一員として強い責任も感ずます。
- ・ 知り合いに、DVに遭い小山のシェルターへ避難していた方がいます。身近なところで起こっているのに、後から聞いて驚きました。加害者ではなく「被害者が悪い」となるDVが、精神的にも許せないと感じます。
- ・ 子どもに罪はありません。DVの連鎖が続かないような社会にしていかなければならないと思いました。
- ・ DVや貧困、虐待など辛い状況にある人たちが、偏見なく生活ができ、声を上げやすい世の中にならなければならないと思いました。
- ・ 女性トイレにシールが貼ってあるのを見かけます。小さなことからでも、ひとつずつ変えて行くことが大事なのだと思います。気軽に相談できる所、発見した方が相談できる所などを、もっとも世の中に知られていくことが必要だと思いました。
- ・ 今日聞いたような事実を知る事が大切だと思いました。気づける大人の教育も必要だと思います。

〈参加者アンケートより〉

3. 行政関係との懇談会

〈懇談会・審議会への参加〉

- 12月4日(金)、栃木県議会自民党会派と懇談、
1月12日(火)、栃木県議会民主党会派、21日(木)公明党会派と懇談しました。
 - ・ 自由民主党栃木県支部連合会 政務調査会会長 神谷幸伸議員、政務調査会副会長 早川尚秀議員、政務調査会副会長 若林和雄議員、事務局次長 福田和芳議員
 - ・ 民主党・無所属クラブ…幹事長 松井正一議員、副幹事長 加藤正一議員
 - ・ 公明党栃木県本部…代表 山口恒夫議員、幹事長 野澤和一議員、幹事長代理 西村眞治議員生協連からは11名が参加し、要望書を提出しました。(別紙報告あり)

要望の内容

- ・ 県内の食品安全の確保と農業者支援について…TPPで農薬や添加物等の食の安全が後退しないように運用希望。栃木県での有機農業の推進について、放射性物質モニタリング検査の継続について希望等
- ・ 消費者行政活性化…栃木県での適格消費者団体設立にむけての現状と支援について等
- ・ 福祉政策の充実…介護保険の運が改定後の運用等について、地域包括ケアづくりの推進とセーフティーネットからこぼれる方々への政策的な救済の必要性等について等
- ・ 災害時の対応…9月の関東・東北豪雨の際、一時避難所での暮らしが長期化し、避難者が身体的、精神的に疲弊するのを目の当たりにしたことから、避難が長引く際には、なるべく日常の暮らしに近い状態で過ごせるよう、災害対策の施策等を通して改善が進むよう要望

- 1月26日(火)、栃木県とちぎ食の安全・安心推進会議に会長理事が出席しました。
- 1月18日(月)、栃木県子どもエコクラブ審査会に会長理事が出席し審査を行いました。

<その他>

- 1月7日(木)、パブリック・コメント(別紙)を提出しました。
県連として、とちぎ食の安全・安心・信頼性の確保に関する基本計画(3期計画)(案)(平成28年度～32年度)に対するパブリック・コメントを、1月12日(火)、「栃木県食育推進計画とちぎの食育元気プラン(第3期)平成28年度～平成32年度 第1次素案」に対するパブリック・コメントを提出しました。
- 1月15日(金)賀詞交歓会を開催しました。参加者約70名
福田知事、国会議員4名、議員秘書5名、県議会議員3名の皆様にもご出席いただき、県や市、行政、様々な団体、会員等約70名が集まり、新年のご挨拶を交わしました。よつ葉生協の田中理事がメンバーのバンドの皆さんによるケーナの演奏もありました。
- 1月4日(月)、宇都宮市・小山市賀詞交歓会に出席しました。
- 1月7日(木)、栃木県の県民生活部と保健福祉部に、新年のご挨拶に伺いました。
- 1月27日(水)、宇都宮市長賀詞交歓会に、会長理事と専務理事が出席しました。
- 1月27日(水)、県が主催するエコ農業推進シンポジウムに参加しました。

4. その他

- 1月23日(土)認定特定非営利活動法人 とちぎボランティアネットワーク 設立20周年記念式典に出席しました。10年会員として表彰状をいただきました。
- 11月5日(木)、27日(金)、30日(月)にとちぎコープと共催で上映したドキュメンタリー映画「シロウオ～原発立地を断念させた町～」では、218名の参加があり、関心を持つことが大事との声をいただきました。

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

- 12月3日(木)栃木県共催し、平成27年度食品安全セミナーを開催しました。
基調講演「食品添加物の安全対策 ～国における取組について～」
講師：厚生労働省医薬・生活衛生局 生活衛生・食品安全部 基準審査課課長補佐 竹内大輔氏
報告「栃木県食品衛生監視指導の状況について」
講師：栃木県保健福祉部生活衛生課 食品安全推進班 班長 高橋 正典 氏

・食品添加物に関しては、様々な意見があり、使用されていない食品を摂りたいと思っている方は多いと思います。しかし、食品の安全を保つために使用するものもあつたり、天然のものでも安全ではないということを理解しなければならないと思います。そのようなことを理解した上で摂取量を考慮しながら食品を選び摂っていきたいと思います。いたずらに食品添加物を恐れるのではなく、きちんとした情報を得て、自分で判断していくことが大切だと思いました。

・正しい知識がいかに大切か、テレビなどで取り上げられたことを「うのみ」にして騒いではいけないのですね。

・今まで添加物への関心が薄かったのが、今回このセミナーに参加することで、関心が高まったと共に、国や県での取組を知ることが出来て良かったです。また、県での指導状況や監視などもわかり、安心してスーパーで買い物ができると思いました。濃い内容だったと思います。ありがとうございました。
〈参加者アンケートより〉

- 1月7日(木)、パブリックコメントを提出
とちぎ食の安全ネットワークとしても、とちぎ食の安全・安心・信頼性の確保に関する基本計画(3期計画)(案)(平成28年度～32年度)に対するパブリック・コメントを提出しました。

- 1月21日(木)、第5回世話人会を開催しました。

議題は、「3月17日・全体会での学習会の内容について」「とちぎ食の安全・安心・信頼性の確保に関する基本計画(3期計画)(案)について、県生活衛生課からの報告と提案」「2015年度の取り組みと2016年度の計画案について」等でした。引き続き、学習会や県と共催のフォーラム、シンポジウム等を通し、食の安全を確保する活動を進めます。

また、県より、ネットワーク参加団体へ「食の安全・安心・信頼性の確保に関する基本計画」に関わる情報を提供し、それを消費者に向けて発信して欲しいとの依頼がありました。

2. とちぎ消費者ネットワーク

- 1月19日(火)、2015年度第6回幹事会を開催しました。

葛谷理子幹事に講師をお願いし「高齢者の消費者トラブル未然防止のために」をテーマに学習会を行いました。消費生活相談件数自体は減少傾向にある中、70歳以上の方の相談は増加傾向にあり、全体の約2割を占めることなど、現況について最新の事例を含めてお話しいただきました。

その他、適格消費者団体設立準備委員会の報告、とちぎ消費者カレッジの進捗状況の報告、参加団体からの活動等を行いました。

- 今年度最終回となるとちぎ消費者カレッジを、1月28日(木)栃木県農業大学校にて開催しました。また、12月に國學院栃木短期大学で開催した消費者カレッジの様子が、1月21日「とちぎテレビのイブニング6」で放映されました。

今年度の開催数は12回、開催校は8校となりました。(自治医科大学、宇都宮大学、作新学院大学、作新学院短期大学、國學院栃木短期大学、宇都宮短期大学、国際医療福祉大学、栃木県農業大学校)。

<p>「インターネットトラブルについて ～ネットを賢く使おう～」 講師：栃木県在住消費生活アドバイザー連絡協議会会員 伊藤延子氏 参加者53名</p> <p>・ 分かりやすく楽しく聞けました。インターネットは怖いですね。 ・ インターネットやクレジットカードなど身近であったり将来使う可能性のあることについて改めて学べたのでとてもよかったです。 ・ 色々なことを聞きましたが、やはりネットは一歩間違えると大変なことになるのだと改めて思いました。 ・ 早めに相談することが大切なんだと思いました。</p> <p>色々契約したり登録する時は、よく考えようと思いました。そして、何かあったりしたら、消費生活センターへ相談してみようと思いました。</p> <p style="text-align: right;">〈参加者アンケートより〉</p>
--

震災支援活動

1. 東日本大震災、福島第一原事故避難者支援

- 第42回いわき市四倉仮設住宅お茶会報告

1月30日開催予定のお茶会は、降雪のため2月11日(木)に延期しました。

- 1月6日(水)、被災地の情報発信

震災後、みやぎ生協さんからの情報「3.11を忘れない～被災地のいま～みやぎ生協から被災地・宮城のいまをお伝えします・・・第29回地域再生に向けて(4)～貸与期限終了を前に再建の道を探す仮設商店街～」をホームページにアップしました。

→「内湾地区には災害公営住宅が多数建つので人も戻ります」と坂本さん。子どもたちの施設「みなみまち cadocco」で

